東京学芸大学
学大スポーツ
発行所 〒164-0013
東京都中野区
弥生町4-11-15
学大スポーツ新聞社
03(3381)1457

陸上競技

奥村、女子三段跳で12m91 2位に入賞
小宮も100メートルハードルで13秒63（自己ベスト）

第99回関東学生陸上競技対校選手権大会

関東インカレは、10月9日から11日まで、相模原ギオンスタジアムで行われ、東学大は男子、女子ともに大健闘した。

しかし、今年は対校戦は行われず、男子一部昇格の願いはかなわなかった。また、混成、競足の競技は後日行われる。

〈女子一部〉

▼女子三段跳び

奥村、念願の大ジャンプ。しかし、あと3センチ！

1位 鞍田（駿河台大）12メートル94（自己ベスト）
2位 奥村彩音（4年）12メートル91（自己ベスト）
12位 飯田詩央（4年）12メートル19
17位 小川瑞穂（4年）11メートル55

手に汗にぎる奥村の優勝あらそいだった。3回目の試技で奥村は12メートル91をマークして、トップに立つ。

しかし、鞍田が5回目に12メートル94をとぶ。最後の6回目奥村は逆転をかけて懸命のジャンプを試みるが、おしくもファウル。振り返って赤旗を見たとき、残念な気持ちを爆発させた。日本選手権で12メートル52をとんで8位に入賞してもっわたしの目標はもっと上と闘志をもやしていた。

▼女子100メートルハードル

冷たい雨の中、小宮力走

3位 小宮いつき（4年）13秒63（自己ベスト）

冷たい雨の悪条件のなか、小宮は1位と2位の選手と並ぶようにゴールした。きれいなスタートから流れるように加速し、みごとなレースだった。

▼女子800メートル
8位 上田万葵（1年）2分15秒62

▼女子やり投げ
2位 望月知貴（4年）48メートル19
10位 森西清華（4年）44メートル96

〈男子2部〉

▼400メートルハードル
東学大、表彰台を独占
1位 田辺ジョー（3年）52秒96
2位 遠藤新東（3年）53秒83
3位 [illegible]（1年）54秒11
1位から3位まで独占する。

▼200メートル
2位 [illegible]人（2年）21秒49

▼110メートルハードル
2位 菊地琳太郎 14秒62

▼走幅跳び（1年）
7位 小坪聖人（4年）9m97
8位 穂刈康人（2年）6メートル67

▼三段跳び
女子の優勝は日大で100.5点。男子の優勝は日大で76点。

〈男子の部〉

▼400メートルハードル
5位 吉田京平（M1）（自己ベスト学大歴代1位）49秒40
予選は1組1着で50秒14

▼走高跳び
7位 [illegible]（2年）2メートル10
土井が2メートル10を1回目でとんでいれば、3位だった…。

▼十種競技
11位 小坪聖人（4年）6628点

▼4×100メートルリレー
東京学芸大 40秒80

▼一万メートル競歩
12位 [illegible]（2年）43分29秒81

〈女子の部〉

▼七種競技
5位 伊藤桃子（1年）5032点

▼三段跳び
9位 奥村彩音（4年）

日本インカレ対策
8位も12メートル32でおしい。奥村は七種競技にも出ていたが、最終種目の800メートルをけがのため途中棄権し、15位に終わる。

第89回日本学生陸上競技対校選手権大会

男子400メートルハードルで吉田（院1年）が自己ベスト49秒40

日本インカレは、9月11日から13日まで、新潟デンカビッグスタジアムで行われた。今年は、関東インカレの前に日本インカレが開催された。

男子の優勝は日大で100.5点。

▼200メートル
2位 [illegible]人（2年）21秒49

▼110メートルハードル
2位 菊地琳太郎 14秒62

▼走幅跳び（1年）
7位 小坪聖人（4年）6メートル97
8位 穂刈康人（2年）6メートル67

▼三段跳び
3位 小村直之（2年）14メートル87

▼やり投げ
3位 中野龍星（2年）59メートル98

▼4×100メートルリレー
6位 東学大 42秒08（小坪、大光、浜道、狩野）

▼4×400メートルリレー
5位 東学大 3分16秒68（沖内、田辺、小坪、遠藤）

第104回日本陸上競技選手権大会、混成競技
U20全国陸上競技大会

U20女子七種で伊藤桃子（1年）が優勝

9月26日と27日に、長野市営陸上競技場で行われた。

〈U20女子七種〉

1位 伊藤桃子（1年）4943点
100メートルハードル14秒88 走高跳1メートル64 砲丸投げ9メートル89 200メートル26秒81 走幅跳び5メートル27 やり投げ37メートル32 800メートル2分20秒57

〈U20男子十種〉

10位 清水將貴（1年）6250点

〈シニア女子七種〉

6位 利藤野乃花（わらべや日洋）5110点
19位 高橋このか（とりふぐ亭）4369点

第一日は高橋は上位にいたが、最終種目の800メートルで足を痛めて途中棄権。おしくも入賞を逃した。

利藤、高橋ともに白梅学園から東京学芸大に進んだ。利藤は在学中に走幅跳びで6メートル11をマークしている。また、200メートルでも活躍した。

第104回日本陸上競技選手権大会（10月1日～3日 デンカビッグスタジアム）

女子三段跳びで奥村が8位に入賞！

▼女子三段跳び
8位 奥村彩音（4年）12メートル52

▼女子100メートルハードル
小宮いつき 13秒80（予選2組 7着）

〈混成競技〉10月25日 江戸川区陸上競技場

▼女子七種
3位 伊藤桃子（1年）4867点

▼男子十種
9位 奈良（2年）5607点
10位 中田（3年）5456点

サッカー

▼東京都大学リーグ戦 10月25日
山梨学院大 2-0 東京学芸大

▼女子800メートル
上田万葵（1年）2分10秒70（予選3組5着）

▼男子400メートルハードル
吉田京平（M1）52秒0（予選2組8着）

▼男子走高跳び
14位 土井颯馬（2年）2m10

この大会で卒業生の[illegible]（積水化学）が1500メートルで4分16秒33で、4位となった。

第104回日本学生陸上競技選手権大会（10月1日～3日 デンカビッグスタジアム）

女子三段跳びで奥村が8位に入賞！

▼女子800メートル
上田万葵（1年）2分10秒70（予選3組5着）

▼男子400メートルハードル
吉田京平（M1）52秒0（予選2組8着）

▼男子走高跳び
14位 土井颯馬（2年）2m10

この大会で卒業生の[illegible]（積水化学）が1500メートルで4分16秒33で、4位となった。

バレーボールは、秋のリーグ戦中止

バレーボールは、秋のリーグ戦が中止となった。東京都大学野球の秋のリーグ戦は1部は行われ、すでに創価大の優勝が決まった。学芸大の所属する2部以下のリーグ戦は中止。

サッカーの東京都リーグ戦は現在行われている。

アメフトは1部（トップ8、ビッグ8）は試合が行われている。学芸大は2部Aで、試合数をへらして開催される。

11月14日 対筑波大 17時15分
11月28日 対東海大 9時45分

アイスホッケーは特別大会を行う。

11月23日 対東京大 18時30分
11月28日 対都立大 18時30分
12月5日 対一橋大 12時30分

しのぶ場さんぽ

▼秋学期のスタートとともに、大学側から出ていた課外活動の制限も緩和され、まだ制限があるが運動部も活動を再開した。▼コロナ感染拡大防止のため、試合会場の風景も一変した。▼練習する場もなく、試合もなく、みんな苦労したことだろう。▼陸上競技の大会では、雨などの悪条件のなかでも4年生、1・2年生の活躍が光った。▼心配していたサッカー部だったが、さまざまな動画配信をしてくれたことでがんばっていることがよくわかった。